

## 仙台市の幼児教育の担い手とその役割（案）

### 1 幼児教育の担い手

- 子どもの生活は、家庭や地域、幼稚園・保育所等と連続的に営まれており、幼児教育は、そのすべての場において行われるものです。幼児教育の担い手である、家庭や地域、幼稚園、保育所、認定こども園が、自らの役割を果たすとともに、相互に連携協力して幼児教育を推進します。

### 2 それぞれの役割

#### (1) 家庭の役割

- 子どもが健やかに育つ一番の栄養は、「自分は愛されている」と実感できることです。家庭において、子どもとしっかりとした信頼関係と愛着関係を築き、子どもの心の安定を図ることが大切です。その上で、規則正しい生活習慣や社会生活に必要な道徳性や規範意識などを身に付けさせるなど、最も基礎となる教育を行います。

#### (2) 地域の役割

- 地域は、様々な人との交流や自然、歴史、文化などに触れることを通して、子どもたちが豊かな体験をする場です。地域住民や小中学校、児童館、子育て支援団体など地域に関わる一人ひとりが、未来を担う子どもたちをともに育てるという意識を持ち、身近な活動を通して子どもの成長と子育て家庭を見守り、支えます。

#### (3) 幼稚園、保育所、認定こども園の役割

- 生活や遊びを通して、子どもの自発的・主体的な活動を促し、心ゆくまで楽しみ、やり遂げる経験を積み重ねることで、健やかな心身を育みます。
- 子どもの様子や成長の姿を伝え合うなどして家庭との連携を図り、保護者の幼児教育や子どもへの理解を深め、子どものよりよい成育環境づくりに努めます。
- 幼児教育と小学校教育の相互の理解と子どもの育ちを共有するため、近隣の小学校の先生との交流を図ります。
- 地域の実情や保護者の要請に応じて、専門性を生かした子育て支援に努めます。

#### (4) 仙台市の役割

- 困難な生活状況に置かれている子どもや、子育てに不安や孤立感を感じている保護者もいることから、すべての子どもと子育て家庭が安心して暮らし、成長していくことができる環境の構築に向けて子育てに関する施策を総合的に推進します。
- 家庭や地域、幼稚園、保育所、認定こども園において、充実した幼児教育が行われるよう支援します。
- 子供未来局と教育局とが連携して、幼保・小の接続の強化を図り、幼児期からの切れ目のない教育を推進します。